

家庭学習の手引き

中学校用



洲本市立由良中学校



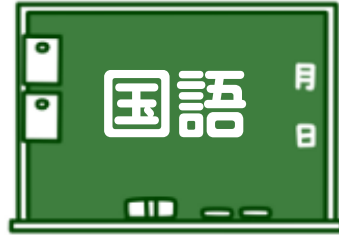
はじめに

子どもたち一人一人が、夢や志を抱いて、未来を切り拓くためには、「生きる力」が必要となります。知・徳・体の調和を図ることはもちろん大切ですが、なかでも知識基盤社会に向けた「確かな学力の定着」が不可欠となってきます。

テレビ、ゲーム、スマートフォンの利用の仕方など、新たな課題も出てくるなか、学校では、学力向上にむけたさまざまな取り組みを考えていますが、ご家庭でも、生活を含めた家庭学習のあり方を、ぜひお考えいただきたいと思います。その一助になればと思い、このたび、「家庭学習の手引き」を作成しました。

家庭学習の充実に向け、この「家庭学習の手引き」をいつも手元に置き、ご覧いただくとともにご活用くだされば幸いです。

各教科の家庭学習法



1. 毎日の家庭学習

予習 ・教科書を大きな声で音読しよう。『、』を意識しながら、
聞いている人の立場になって、ゆっくりと最低でも2回は
読みましょう。

・新出漢字、新出音訓の書き取りをしよう。

・注意する語句の意味調べをしよう。

復習 ・授業の内容のノートやプリントを見直しましょう。

・宿題をやりましょう。

・今日学習した所のワークをやりましょう。

2. テスト前の家庭学習

① テスト範囲を必ず音読しよう。

② 単元別漢字などで、漢字の書き取りや読みをチェックしよう。
(わからない漢字は、何度も書き取りして覚えること)

③ 注意する語句の意味を復習しよう。類義語・対義語もチェックすること。
語句を使っの短文作成も、文章の中での使い方を確認しよう。

④ ノートやプリントで内容を思いだそう。ノートのメモ欄も注意すること。

⑤ ワークをもう一度やり直したり、問題集などをやってみよう。

⑥ 文法事項の復習をしよう。(授業の内容確認。問題集をたくさんすること)

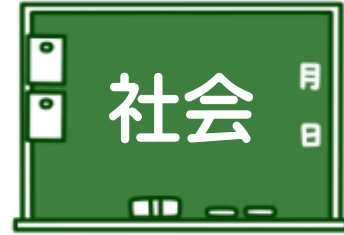
3. 日常生活で出来ること

① 本をたくさん読もう。(知っている言葉の量が多くなります。知識も広がります。)

② 新聞を読もう。(社会の出来事に興味や関心がわかります。できれば社説やコラム欄を切り
抜いてノートに張って、書き写してみよう。びっくりするほど国語の力がつきます。)

③ 習った漢字は、必ず使う癖をつけよう。分からないときは必ず漢字を調べる癖をつけま
しょう。

各教科の家庭学習法



1. 毎日の家庭学習

予習 ・明日学習するところの教科書を読む。
・新出の用語をチェックし、わからない語句については、自分で調べておく。

復習 ・教科書を読み直す。本文だけでなく、資料(図・表)にも注目すること。
・ノートを確認し、要点をつかむ。
・授業で出てきた地名は、どこにあるのか地図帳で確認しておく。
・その日習った語句から、単語帳を作成する。

【単語帳の例】

【表】	【裏】
インド国内でもっとも広く信仰されている宗教は？	ヒンドゥー教
寛政の改革を行った江戸幕府の老中は誰か？	松平定信

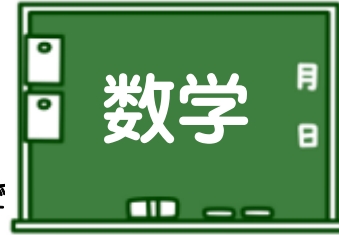
2. テスト前の家庭学習

- ① テスト範囲を教科書、ノート、プリントなどをもとに再確認する。
地図、資料など本文以外の項目にもしっかりと目を通す。
- ② 自主学習用のノートを一冊作る。
再度、自分でまとめる。
難しい語句や、覚えにくいものを何度も書いて覚える。
- ③ 問題集をやる。
間違えた問題はチェックしておく。
間違えた問題を自主学習ノートに書き込んでおく。
- ④ 単語帳を見直す。
単語帳は簡単に持ち運べるので、学校の休み時間や、夜寝る前など、無駄にしがちな時間を有効に活用しよう。

3. 日常生活で出来ること

- ① 習った語句(用語)は、漢字で書けるようになっておくこと。
- ② 新聞、ニュースなどで、世の中の動きに関心を持ちましょう。
- ③ 地理的分野 ・地図帳や地球儀をすぐに見る習慣をつける。
・テレビなどで出てきた場所や特産物をチェックする。
- ④ 歴史的分野 ・大まかな歴史の流れをつかんでおくこと。
・歴史マンガや歴史に関する番組をみる。
- ⑤ 公民的分野 ・新聞、ニュースなどで、環境問題や時事問題対策をしておく。

各教科の家庭学習法



1. 毎日の家庭学習

予習 ・余力のある人は、明日学習するところを読んで
できれば例題を解いてみよう。

復習 ・毎日15分から始めよう。継続して学習することが大切です。
・宿題は必ずしよう。わからないところは友達や先生に聞いてでも、やる習慣
をつけよう。
・授業中、時間が足らずにできなかった問題に挑戦しよう。
・間違った問題はもう一度チャレンジしよう。

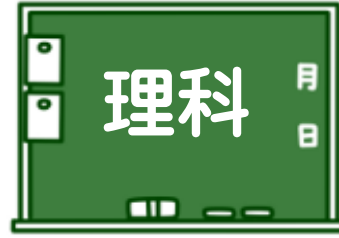
2. テスト前の家庭学習

- ① 教科書の例題やノートを使って解き方を確認しよう。
- ② 公式や定理を暗記しよう。
- ③ 問題集などをどんどん解いていこう。解けなかった問題は解答例を見ながら解き方を覚えよう。時間をおいて再度解いてみよう。

3. 常生活で出来ること

- ① 小学校からつまずいている人はいませんか。分数や小数でつまずいている人は、そこから復習を開始しましょう。
- ② テスト前に見直せるように、ノートは丁寧に書きましょう。
- ③ テストの直しは確実にしよう。テストでできなかった問題をほったらかしにすると、次に類題が出されたときに、まだ解けないことになります。テストの直しは繰り返し、必ずやっておきましょう。
- ④ 「継続は力なり」毎日学習する時間を作りましょう。

各教科の家庭学習法



1. 毎日の家庭学習

予習 ・明日学習するところの教科書を読む。

・太文字の単語をチェックする。

・意味の分からない語句については、自分で調べておく。

復習 ・その日学習した事柄を自主学習ノートにまとめる。教科書、ノート、ワーク、参考書で解説を見ながら要点を書き写す。

・実験の注意点や実験結果も大切ですから、実験や観察を思い出しながらノートに書き出す。図や表も必要に応じて上手に活用しよう。

2. テスト前の家庭学習

① テスト範囲の教科書を読み、重要語句、観察・実験方法、結果、注意点を再確認する。
(特に実験は自主学習ノートにまとめなおす)

② 重要語句は、漢字で書けるように何度も練習する。

③ 問題集をやってみる。知らないことがあれば、自主学習用のノートに書き込んでいく。
※自分専用の参考書を作るつもりで。

④ 単語カードを利用して、大事な点を暗記していく。

⑤ テスト前は、自主学習用のノートを見直そう！！

⑥ 授業で使っているワークに繰り返し取り組み、覚えるまでやる。

⑦ ワークの問題の図を見て、問題文や解答を予想する練習をしておく。

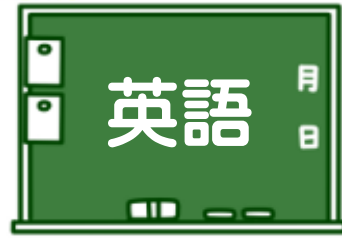
3. 日常生活で出来ること

① 理科は、物理・化学・生物・地学の4領域に分かれており、均等な内容量に設定されています。領域によって得意、不得意があると思いますが、日頃から自然に触れることや、科学的な事象に疑問を感じたり、それを調べたりする習慣をつけましょう。

② 中学生向けの科学雑誌などを読みましょう。(理科の先生に聞いてみよう)

例 『ニュートン』『子どもの科学』『そうなんだ』

各教科の家庭学習法



1. 授業の中で大切にしてほしい学習の方法

予習 ・予習を必ずする(本文の書き写し・単語の意味調べ)

授業中 ・発音の練習の時には、自分の声が聞こえるような音量で、単語や文を読む練習をしましょう。※単語が読めることが、英語上達の第一歩です。

・重要な連語には赤線(蛍光ペン)を引いて、覚えましょう。

・ペアワークなどは、文法の復習やコミュニケーションの練習ができるので、積極的に取り組みましょう。

・英語は学習したことをもとに、次の単元に入っていきます。一年生からの積み重ねがとても大切です。

※授業では説明をしっかり聞いて、重要ポイントを理解しよう。

※授業でわからないときは、その時に質問しよう。

※授業で習ったところは、必ず復習しよう。

復習 ・授業で一つのパートが終わったら、ワークを使って復習をしましょう。基本文の使い方や単語の意味の再確認、また重要文や英作文の練習ができます。

2. テスト前の家庭学習

① 教科書を音読して、新出単語や基本文、アンダーラインを引いたところしっかり覚えましょう。

② 配布されるプリントを解き、できなかったところの見直しと、分からなかった単語をもう一度覚えなおしましょう

③ テストでは問題を正確に読み取り、ケアレスミスをなくすこと。

※問題では、時制(過去形の[ed]や複数名詞・3人称単数[s.es])を忘れていただけで不正解になります。気をつけましょう。

3. 継続して取り組んでほしい学習の仕方 ～たとえ短時間でも必ず！～

① 単語力をつけましょう。毎日のノートをしっかり活用し、単語や連語、基本文(文法)を覚えること。

※声を出しながら、つづり(スペル)を書いていきましょう。

(文字は見やすく！目で見ると、きれいな方が覚えやすい)

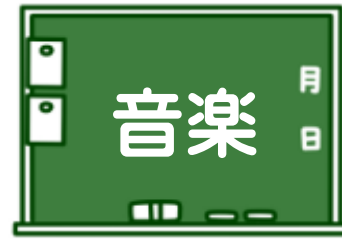
※単語だけでなく、英文も何回も書くようにしましょう。

(文中での単語の意味や使い方、文の構造などを自然に覚えます。)

② 習ったページの単語や基本文、本文を音読しましょう。

③ ワークブックの反復練習をしましょう。

各教科の家庭学習法



1. 毎日の家庭学習

身のまわりには、いろいろな音楽があふれています。音楽に関心を持ち、耳をすますと、授業で習った曲がテレビやラジオをはじめ、いろいろなところから流れてきたりします。

また、テレビやラジオの音楽番組にチャンネルを合わせて、いろいろなジャンル(分野)の音楽を鑑賞したり、音楽に親しむように日々の生活の中で心がけましょう。

2. テスト前の家庭学習

※授業中に学習したことを出題します。

- ① 教科書や配布プリントをもう一度見直しましょう。
- ② 楽曲は、その曲をどんな人が(作詞者・作曲家)どんな思いで(時代背景など)作ったのかということも理解した上で、歌詞・音・リズムなどの楽譜の基本を見直しましょう。
- ③ 楽器や歌の実技テストがあります。授業に積極的に参加し、家でも練習をしましょう。

3. 日常生活で出来ること

暮らしの中にある身近な音に耳を傾けたり、季節の移り変わりを感じたりして、心に余裕を持ち感性を磨いていきましょう。

各教科の家庭学習法



1. 毎日の家庭学習

- ① 絵画や彫刻、工芸などの芸術作品だけが美術ではありません。生活用品や、建築物、ファッション、映画など、美術は様々なジャンルに関わっています。美しい形や心に響く色合いのもの、使いやすさの優れたものにはどのような工夫がされているのか、考えてみましょう。
- ② 音楽を聴いたり、本を読んだりして想像する力を育てましょう。

2. テスト前の家庭学習

《筆記テスト》

- ① 教科書、資料集、プリントで学習したこと、授業中に大事だと先生が言ったところが出題されます。
- ② 作品名や作者名、用具や道具名、使い方や制作手順といったものがよく出題されます。漢字で習ったところは漢字で書けるようにしておきましょう。

《実技テスト》

- ① 実技テストでは、おもに鉛筆を使って描きます。鉛筆の他、定規を使う場合もありますので、テスト前の連絡をよく聞いておきましょう。

3. 日常生活で出来ること

- ① 美術館や博物館で多くの作品と出会い、良いものに触れておきましょう。
 - ・兵庫県立美術館(神戸市)
 - ・神戸市立博物館(神戸市)
 - ・神戸ファッション美術館(神戸市)
 - ・姫路市立美術館(姫路市)
 - ・京都国立博物館(京都市)
 - ・玉青館(南あわじ市)
 - ・アート山美術館(淡路市)
 - ・大塚国際美術館(鳴門市)
 - ・国際国立美術館(大阪市)
 - ・京都市立美術館(京都市)
- ② インターネットやテレビの美術番組から今の旬の情報を仕入れてみましょう。
 - ・『日曜美術館』 NHK Eテレ 毎週(日) 9:00~10:00(再放送あり)
 - ・『美の巨人たち』 テレビ大阪 毎週(土) 22:00~22:30
- ③ 通学中の景色や空の色、風の匂いなど身近な場所にも感動はあります。満月の映った海や、夕暮れ空のグラデーションなど、ふと見た景色に感動したり、季節の移り変わりの小さな変化に気づいたりすることは大切です。それらはあなたの生活を心豊かなものにしてくれるのです。毎日の生活の中から、新しい美を発見していきましょう。

各教科の家庭学習法



1. 保健体育の基本的な考え方

- ① 自分の体に興味を持ち、活力をつけて授業にのぞみましょう。◇バランスのとれた栄養◇睡眠◇生き生きとした心
- ② ウォーミングアップを大切にしましょう。
- ③ 得意、不得意にかかわらず、どの運動にも積極的に取り組みましょう。
- ④ 自分の全力を尽くすように心がけましょう。
- ⑤ 結果も大切ですが、そこに至るまでの過程を大切にしましょう。
- ⑥ 大人になってからも健康的な生活ができるように、運動の練習の仕方や、心身の発達についての基本的な知識をしっかりと身につけましょう。

2. 中学生期のみなさんの体

中学生期は、運動能力や体力が目覚ましく発達するだけでなく、自分らしさに目覚め、友情をはぐくみ、心身ともに豊かに伸びゆく大切な時期です。この時期にいろいろなスポーツに親しみ、自分の可能性に挑戦し、みんなで仲良く活動することは、生涯スポーツの基礎を培う上できわめて大切なことです。体育の学習を通して、その力をつけていきましょう。

3. 授業の中で大切にしたいこと

- ① 保健体育は実技の教科ですから、参加することを第一に考えよう。体調の管理をしっかりとし、欠席や見学等が少なくなるように普段の生活の仕方に注意しよう。
- ② 服装を整えよう。
- ③ 話は集中して聞けるようにしよう。
- ④ 不得意なことでも根気強く意欲的に取り組みましょう。
- ⑤ 学習ノートや記録の提出忘れのないようにしましょう。
- ⑥ みんなで協力して準備・練習・片付けができるようにしましょう。

4. テスト前の家庭学習

- ① 保健体育の授業中に説明したことをしっかりと見直す。
- ② 保健の教科書や実技の教科書をしっかりと読みこなそう。
- ③ テスト範囲の『保健体育の学習』（ワーク）の問題にしっかりと取り組もう。
- ④ 日常よりスポーツや心身の発達のことに関心を持って生活しよう。

各教科の家庭学習法



1. 毎日の家庭学習

こんな場面に出会ったら進んで取り組みましょう

技術科での毎日の家庭学習はありません。その代わりに、こんな場面では進んで作業に取り組みましょう

- (例)
- ・ネジがゆるんでいる。→ドライバーで締めてみましょう。
 - ・電球が切れている。→取り替えてみましょう。(思っているより簡単)
 - ・自転車がさびついている→さびをとるスプレーをかけてみましょう。

『なぜ』と疑問を持ちましょう。

世の中には技術があふれています。その内容は授業で習う100倍！？1000倍！？それ以上かもしれません。とにかくあふれています。携帯電話一つでもたくさんの技術が使われています。通話・メール・カメラ・画面・ボタン・アプリ等、いろんな機能がついていますよね。これらの機能は『なぜ』使うことができるのでしょうか？気になりませんか？気になりますよね？調べてみましょう。このように世の中にあるものに対して『なぜ』と疑問を持つことが技術科には大切です。

2. テスト前の家庭学習

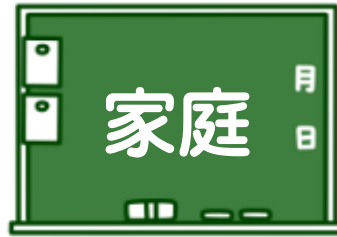
- ① 授業で習った(もしくは実習した)範囲を教科書や学習ノートで確認し、ノートにまとめましょう。
- ② 授業中、先生が話していたことを思い出してノートに書き出してみましょう。
- ③ 『今日はテスト勉強がんばった！！』と思えるまで勉強しましょう(どの教科も同じです)
- ④ その教科のテスト前日ではなく、前々日には最低でも勉強を始めましょう。
(テスト勉強してわからなかったところを、先生に質問する時間が確保できます。)

3. 日常生活で出来ること

「1. 毎日の家庭学習」に書かれている内容に加えて、次のことに取り組みましょう。

- ① 壊れたものを直してみよう！
「あっ！壊れた…」すぐにポイッ。ではなく、『ちょっと直してみようかなあ』この取り組みが大事！！いきなりポイッよりは直るかどうかが試してみましょう。その結果直らなくてもいいんです。
- ② 作れるものは作ってみよう！
『〇〇が欲しいなあ…』欲しいものはたくさんあります。作れるものはないですか？代わりに使えるものはありませんか？すぐ買うのではなく、作ってみたり、代用品を考えたりしてみましょう。

各教科の家庭学習法



1. 毎日の家庭学習

- ① 洗濯、洗濯物干し、洗濯物を取り入れてたたむ。家族がしているのを見て手伝う。
- ② 食事の準備や後片付けを見て手伝う。包丁を使わせてもらう。
- ③ 家の掃除のやり方をみて手伝う。
- ④ 針仕事やアイロンかけを見て手伝う。
- ⑤ 幼児に接する機会があれば、かかわり方を教えてもらう。
- ⑥ 家族の買い物についての話を知ったり、一緒に連れていってもらおう。
- ⑦ 快適に住む環境を考える。

2. テスト前の家庭学習

- ① 学習した範囲の教科書やノートを見直す。まとめるところはまとめて覚えましょう。
- ② 作品を決められた日までに仕上げる。
- ③ 提出物を必ず出す。(重要)
- ④ 家庭科は毎日の積み重ねが知識となり、自分の力になります。学習したことはその日に実行してみよう！

3. 日常生活で出来ること

- ※家族の手伝いを進んでする。
- ※ボタン等は自分でつけられるように！

数学

- 教科書の例題をもう一度解きなおす。
- 公式や定理を暗記する。
- 問題集をどんどん解いていく。解けなかった問題は、解答例を見ながら解き方を覚える。
- ☆小学校からつまづいている人はいませんか？
分数や小数でつまづいている人はそこから復習。

英語

- 予習をする(単語の意味調べ・本文の書き写し)
- 教科書を音読しよう。
(重要な語句はマーカーを)
- 単語を覚える(声を出しながら綴りを書く)
- 単語や連語の書き取り練習。文法の復習。
- プリントやワークをもう一度やろう。
- 問題集に取り組もう。

国語

- 教科書を音読しよう。(句読点を意識)
- 漢字の書き取りを繰り返し練習しよう。
- ワークや問題集をやろう。
- 注意する語句の意味調べをしよう。
- 古文は暗記する。単語の意味を覚える。
- 文法の復習・問題集をする。

家庭学習の基本

- 時間を決めて勉強しよう(中1・75分 中2・90分 中3・120分)
- 学習に集中できる環境を整えて
～テレビを見ながら・スマホをいじりながらでは集中できません～
- 読書に親しもう。小説・科学雑誌(ニュートン等)・歴史マンガ・新聞・ニュース等を意識して見る。環境問題や情報社会等にも注目しよう。

☆保護者の皆様へ

～がんばりを認め、励まし、親子の対話やふれあいを大切に～

学力向上の極意

～家庭学習編～

理科

- 教科書を読む。(重要語句をチェック・調べる)
- 自主学習ノートを作成。(実験・観察結果。図・表も意識してまとめなおす)
- ワークや問題集をやる。(自主学習ノートに追加記入していく)
- 重要語句は漢字で書けるように。単語カード作成

社会

- 教科書を読む。(重要語句にマーカーを引く)
- 自主学習ノートを作成。(再度自分でまとめなおす)
- 問題集をやる。(自主学習ノートに追加記入)
- 重要語句の単語カード作成。繰り返し暗記。